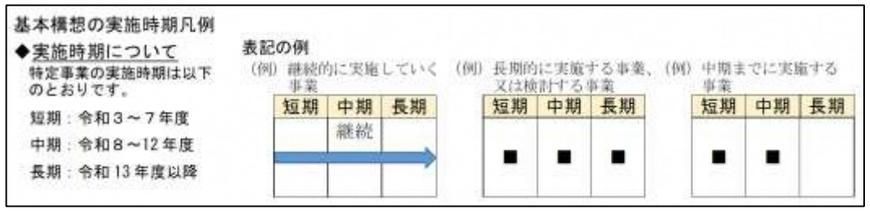
JR／京成稲毛地区の特定事業計画（一部抜粋）

参考資料３

１．公共交通特定事業

１）鉄軌道



特定事業計画の具体的な実施期間凡例

	予定実施期間
	継続的に実施するもの（期間全体を塗りつぶす）
	実施時期未定（期間全体を塗りつぶす）

基本構想ページ	36

対象施設	京成稲毛駅	事業主体	京成電鉄株式会社

R4地区別基本構想（JR/京成稲毛地区）で定めた事項（変更不可）						特定事業計画											③特記事項（実施に向けた課題・現在の状況等）
番号	項目	特定事業	基本構想で定めた実施時期			①具体的な事業内容（場所・規模・数量・方法等）	②具体的な実施期間										
			短期	中期	長期		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13～	
1	上下移動	駅設備等の改修に合わせ、階段は段鼻の色を強調し、段を識別しやすいように検討。	■	■	■	駅の大規模改修等に合わせ継続検討する。											
2	ホーム	ホームの幅員が狭い箇所には、車椅子使用者や視覚障害者に配慮した注意喚起対策を実施。	■			2021年度内にホーム床面への注意喚起文の表示を実施する。											
3		駅設備等の改修に合わせ、ホームと車両の隙間や段差は、できる限り小さくするよう検討。	■	■	■	駅の大規模改修等に合わせ継続検討する。											
4	トイレ	駅設備等の改修に合わせ、旅客施設の共通の配慮事項を考慮したトイレの改修を検討。	■	■	■	駅の大規模改修等に合わせ継続検討する。											
5	案内設備	行先表示設備の設置。	■			2024年度の設置に向けて検討を進める。											
6	人的対応・心のバリアフリー	人的サービスが必要な方に対し、駅係員等による案内やサポートなどの対応を充実。（駅係員のサービス介助士資格取得を推進）		継続		駅係員のサービス介助士取得に向け、資格取得研修を実施する。											2022年1月現在、540/587名（取得者/在籍者）がサービス介助士資格取得済。（在籍者は駅係員）
7		エレベーターや車椅子使用者用トイレの優先利用に関し、駅係員による啓発（声掛け）を実施。		継続		お手伝いが必要なお客様に対し、駅係員による啓発（声掛け、見守り）を実施する。											駅職場に向け、「声かけサポート運動」の教育資料を配布、職場内教育にて共有している。
8		多様な利用者への適切な対応について、駅係員等への教育や研修を実施。		継続		職場内教育や業務研修等を通じ、接遇スキルの向上に努める。											
9		筆談用具を設け、筆談用具があることを示す案内を表示。		継続		駅改札口等に筆談用具があることを示す案内を表示する。											筆談器のほか、指差しにてご案内できる会話帳を設置している。
10		駅や車両利用のマナー・ルール等に関する啓発を継続して実施。		継続		駅構内にマナー等に関する啓発ポスターを掲出する。											駅貼りポスターのほか、運行情報ディスプレイにおいても同様のマナー啓発を掲出中。
④特定事業の実施に必要な資金の額及び調達方法																	
⑤その他、実施に際し配慮すべき事項、特定事業以外に実施する事項、参考写真等																	

4．建築物特定事業
5）文化・教養・教育施設

基本構想の実施時期凡例
◆実施時期について
特定事業の実施時期は以下のとおりです。
短期：令和３～７年度
中期：令和８～12年度
長期：令和13年度以降

表記の例
（例）継続的に実施していく事業　（例）長期的に実施する事業、又は検討する事業　（例）中期までに実施する事業

特定事業計画の具体的な実施期間凡例

	予定実施期間
	継続的に実施するもの（期間全体を塗りつぶす）
	実施時期未定（期間全体を塗りつぶす）

基本構想ページ	50

対象施設	敬愛大学	事業主体	学校法人　千葉敬愛学園

R4地区別基本構想（JR/京成稲毛地区）で定めた事項（変更不可）						特定事業計画												
番号	項目	特定事業	基本構想で定めた実施時期			①具体的な事業内容（場所・規模・数量・方法等）	②具体的な実施期間											③特記事項（実施に向けた課題・現在の状況等）
			短期	中期	長期		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13～		
1	出入口・敷地内通路	新校舎建設により、車椅子使用者等が快適に生活可能な対応を実施。また、大学敷地内に視覚障害者誘導用ブロックの設置を検討するとともに、守衛による声掛けなどの対応を実施。		■		新校舎には、段差のない構造やEV（4基）などを設置する。また敷地内の点字ブロック設置等を推進する。さらに車いすユーザーである学生からヒアリングを行い、望ましい整備を実施する。	■	■	■	■	■	■						新校舎建設に向けて、令和4年2月から現校舎の解体工事を始めている。
2		新校舎建設により、車椅子使用者等が通行しやすいよう出入口を改善。	■			新校舎では出入口の段差を設けない設計を行い、適切に施工する。段差が解消できない校舎（2号館）では利用しやすいスロープを整備する。	■	■	■									新校舎建設に向けて、令和4年2月から現校舎の解体工事を始めている。
3	建築物内通路	新校舎建設にあわせ行う現校舎リフォームにて、建物内通路のバリアフリー化を実施。		■		階段手前やEV前など主要箇所に、視覚障害者誘導用ブロックを設置する。	■	■	■	■	■	■						新校舎建設に向けて、令和4年2月から現校舎の解体工事を始めている。
4	上下移動	新校舎建設にあわせ行う現校舎リフォームにて、上下移動のバリアフリー化を実施。		■		階段手すりの端部の鋭角部分を改善する。	■	■	■	■	■	■						新校舎建設に向けて、令和4年2月から現校舎の解体工事を始めている。
5	トイレ	新校舎建設にあわせ行う現校舎リフォームにて、共通の配慮事項を考慮したトイレのバリアフリー化を実施。		■		車いす使用者が円滑に利用できるトイレを整備する。またオストメイトの設置などに配慮する。	■	■	■	■	■	■						新校舎建設に向けて、令和4年2月から現校舎の解体工事を始めている。
6	駐車場	キャンパス再整備時に複数台数の障害者用駐車ますを確保。		■		キャンパス再整備工事終了時に、2台以上の専用ますを設置する。	■	■	■	■	■	■	■	■				新校舎建設に向けて、令和4年2月から現校舎の解体工事を始めている。工事スペース確保のため、一時的に専用駐車ますは廃止している。
7	案内設備	新校舎建設にあわせ行う現校舎リフォームにて、共通の配慮事項を考慮した案内設備のバリアフリー化を実施。		■		校舎内の各種掲示にピクトグラムやバリアフリーに配慮した案内図などを整備する。	■	■	■	■	■	■						新校舎建設に向けて、令和4年2月から現校舎の解体工事を始めている。
8	その他設備	新校舎建設にあわせ行う現校舎リフォームにて、ローカウンターの増設を検討。		■		窓口や記入台に、ローカウンターを増設する。	■	■	■	■	■	■						新校舎建設に向けて、令和4年2月から現校舎の解体工事を始めている。
9	人的対応・心のバリアフリー	エレベーターや車椅子使用者用トイレに優先利用の表示を行い、必要な人が使えるよう啓発。		継続		エレベーターや車椅子使用者用トイレに優先利用の表示を行い、必要な人が使えるよう啓発する。												
10		筆談用具やコミュニケーション支援ツールを設け、設置を示す案内を表示。		継続		筆談用具やコミュニケーション支援ツールを設け、設置を示す案内を表示する。												
11		人的サービスが必要な方に対し、職員による案内やサポートなどの対応を充実。		継続		人的サービスが必要な方に対し、職員による案内やサポートなどの対応を継続する。												
12		多様な利用者への適切な対応について職員の教育や研修を実施。		継続		多様な利用者への適切な対応について、教職員への研修を継続的に実施する。												
④特定事業の実施に必要な資金の額及び調達方法						ハード事業の実施については、事業実施の前年度に予算調整のもと調達を行う。												
⑤その他、実施に際し配慮すべき事項、特定事業以外に実施する事項、参考写真等																		敬愛大学新校舎建設工事終了（令和5年度予定）後、引き続き同敷地内の敬愛学園高等学校の校舎建て替えを予定しており、全ての整備は同高校校舎建て替え後に完了予定である。